



PUBLIC (公開)

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
ドキュメントバージョン: 4.3 Support Package 4 – 2023-12-07

Portal Integration Kit インストールおよびデプロイメントガイド: SAP iView

目次

1	ドキュメント履歴.....	4
2	Business Intelligence プラットフォーム Portal Integration Kit for iView の概要.....	5
3	インストールの前提条件.....	6
4	iView における BI プラットフォームコンテンツへのアクセス.....	8
4.1	.par ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.0 サーバにアップロードする.....	8
4.2	SAP NetWeaver Enterprise Portal (7.3 以降)および .par ファイル.....	9
	.par ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 以降にアップロードする.....	9
	.ear ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 にデプロイする.....	9
	BI プラットフォームを SAP NetWeaver Enterprise Portal システムランドスケープに追加する.....	10
5	ポートレットのデプロイ.....	13
5.1	ポータルサーバに iView テンプレートをインポートする.....	13
5.2	ドキュメントビューアポートレットをデプロイする.....	14
5.3	ドキュメント一覧ポートレットをデプロイする.....	14
5.4	IE 10 および IE 11 に対して SAP NetWeaver Enterprise Portal Server 7.3 を設定する.....	15
6	Knowledge Management and Collaboration に関する BI プラットフォームリポジトリの設定.....	16
6.1	SAP Enterprise Portal に対する BI プラットフォーム設定の概要.....	16
6.2	BI プラットフォームリポジトリをインストールする.....	17
	SAP Enterprise Portal から BI プラットフォームリポジトリをアンデプロイする.....	17
6.3	BI プラットフォームリポジトリの設定.....	17
	BI プラットフォームリポジトリ用に SAP BW を設定する.....	17
	SAP NetWeaver Enterprise Portal 用に BI プラットフォームを設定する.....	18
	クライアントマシンを設定する.....	18
	BI プラットフォームリポジトリ用に SAP NetWeaver を設定する.....	19
	BI プラットフォームレイアウトを設定する.....	20
	コラボレーションの設定.....	20
	購読の設定.....	21
6.4	BI プラットフォームリポジトリインスタンスを更新する.....	21
7	SAP NetWeaver Enterprise Portal の Knowledge Management and Collaboration.....	22
7.1	SAP Enterprise Portal の BI プラットフォームリポジトリにログオンまたはログオフする.....	22
7.2	SAP NetWeaver Enterprise Portal での BI プラットフォームのナビゲート.....	22
	フォルダビューとカテゴリビューの間でナビゲーションを切り替える.....	23

7.3	BI プラットフォームタスクの概要	23
	ドキュメントを BI プラットフォームにアップロードする	24
	BI プラットフォームにオブジェクトをコピーまたは移動する	25
	BI プラットフォームからオブジェクトを削除する	25
	BI プラットフォームでドキュメントを検索する	25
	BI プラットフォームでドキュメントを購読する	26

1 ドキュメント履歴

以下の表は、ドキュメント変更の概要です。

バージョン	日付	説明
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.3	2020 年 6 月	初期リリース

2 Business Intelligence プラットフォーム Portal Integration Kit for iView の概要

このガイドでは、SAP BusinessObjects Business Intelligence (BI) プラットフォーム Portal Integration Kit for iView のインストールと設定について説明します。

iView (統合ビュー) は、ビジュアルアプリケーション (またはその一部) を表す論理ポータルコンテンツビルディングブロックです。iView により、利用可能なすべての情報リソースを、その保存場所に関係なくポータルで利用できるようになります。ユーザは、各 iView と、iView の基盤となるシステムおよびアプリケーションに対する適切なアクセス権を持っている必要があります。

Portal Integration Kit for iView では、ポートレットを使用して、BI プラットフォームのドキュメント表示、編集およびスケジュール機能を SAP NetWeaver Enterprise Portal に統合します。

インストールには、主なステップが 2 つあります。

1. SAP NetWeaver technology platform への BI コンテンツのインポート
2. BI プラットフォームの Enterprise Portal システムランドスケープへの追加

BI プラットフォームアーキテクチャの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド*を参照してください。

3 インストールの前提条件

Portal Integration Kit for iView をインストールする前に、いくつかの要件を満たす必要があります。

領域	要件
管理者の知識	<ul style="list-style-type: none">Enterprise Portal サーバの実用的な知識BI プラットフォームシステムの実用的な知識
ドメイン	<p>次のシステムは、同じドメインにインストールされている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">Business Intelligence (BI) プラットフォームSAP Business Warehouse (BW) — 旧称 "SAP Business Intelligence (BI)" または "SAP Business Information Warehouse (BIW)"Enterprise Portal — 旧称 "SAP Enterprise Portal (EP)"
ホストマシン	<p>以下のシステムが、同じホストマシンにインストールされている必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none">BI プラットフォームBWEnterprise Portal <div><p>① 注記</p><p>BI プラットフォームが別のホストマシンにインストールされている場合、BI プラットフォームの Web Tier コンポーネントを BW および Enterprise Portal のホストマシンにインストールする必要があります。</p></div>
BI プラットフォーム	SAP NetWeaver technology platform を、BI プラットフォームで権限認証システムとして設定する必要があります。
シングル サインオン (SSO)	SSO を、SAP NetWeaver technology platform と BI プラットフォームの両方で設定する必要があります。
ポータル環境	<ul style="list-style-type: none">Enterprise Portal サーバの Web セッションタイムアウトが、NetWeaver Web Application Server (WAS) に対して設定されたタイムアウトと同じである必要があります。Enterprise Portal サーバと SAP NetWeaver WAS の両方を、Secure Sockets Layer (SSL) を使用して設定する必要があります。いずれか1つのサーバのみでの SSL 設定は、サポートされていません。

BI プラットフォームの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドの「認証」および「アプリケーションの管理」を参照してください。

4 iView における BI プラットフォームコンテンツへのアクセス

Business Intelligence (BI) プラットフォームコンテンツに iView でアクセスする前に、BI プラットフォーム .par ファイルを Enterprise Portal サーバにアップロードする必要があります。ここで、このファイルは Enterprise Portal にデプロイできる .ear ファイルに変換されます。

デフォルトでは、このファイルは BI プラットフォームの `¥¥<InstallDir>¥SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0¥warfiles¥portlet¥iviews¥com.sap.businessobjects.iviews.par` にあります。

① 注記

SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 以降では、.par ファイル形式はサポートされていません。SAP NetWeaver technology platform の PAR 移行ツールを使用して、BI プラットフォームの .par ファイルを .ear ファイル形式に自動変換する必要があります。

4.1 .par ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.0 サーバにアップロードする

SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.0 からポータルアプリケーションをアップグレードするときには、Business Intelligence (BI) プラットフォームから SAP NetWeaver Enterprise Portal サーバに .par ファイルをアップロードする必要があります。

`com.sap.businessobjects.iviews.par` ファイルには、BI プラットフォームリポジトリの内容が含まれています。このファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal にアップロードすると、.war ファイルに変換されます (.ear ファイルにパッケージ化されます)。

1. SAP NetWeaver Enterprise Portal で、**システム管理** > **サポート** を選択します。
2. **ポータルランタイム** > **Administration Console** を選択します。
3. **アーカイブアップローダ**領域で、`¥¥<InstallDir>¥SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0¥warfiles¥portlet¥iviews¥com.sap.businessobjects.iviews.par` ファイルを見つけて選択し、**アップロード**をクリックします。

`com.sap.businessobjects.iviews.par` ファイルが正常にアップロードされたことを示すメッセージが表示されます。

PAR 移行ツールを使用して、アップロードした .par ファイルを .war ファイルに変換して .ear ファイルにパッケージ化します。

4.2 SAP NetWeaver Enterprise Portal (7.3 以降)および .par ファイル

ポータルアプリケーションを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 からアップグレードする際に、PAR 移行ツールを使用して Business Intelligence (BI) プラットフォームの .par ファイルを .war ファイルに変換します。

SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 以降では、.par ファイル形式はサポートされていないため、.par ファイルを .ear ファイル形式に変換する必要があります。

① 注記

詳細については、SAP ノート: [1694773](#) を参照してください。

4.2.1 .par ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 以降にアップロードする

.par ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 にアップロードし、変換した .ear ファイルを Enterprise Portal にデプロイする必要があります。

1. SAP NetWeaver Enterprise Portal で、**システム管理** > **サポート** を選択します。
2. **[PAR 移行ツール]** をクリックします。
PAR 移行ツールウィザードが表示されます。
3. 次のいずれかの方法で**使用可能なファイル**リストにファイルを追加します。
 - インポートされた移送パッケージからのファイルのアップロード
 - 個々の .par ファイルの参照およびアップロード
 - ファイルのアップロード元となるローカルフォルダのパスの指定
4. 移行するファイルを選択して、**[選択されたファイル]** リストに移動します。
5. **次へ** をクリックします。
ファイルが移行されて、**[移行されたファイル]** リストに表示されます。
6. ダウンロードするファイルを選択し、**ダウンロード** または **すべてをダウンロード** をクリックします。
ファイルがダウンロードされ、SAP NetWeaver Enterprise Portal にデプロイできます。

ファイルをデプロイしたら、iView アプリケーションを実行できます。

4.2.2 .ear ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal 7.3 にデプロイする

Enterprise Portal でデプロイメントスクリプトを使用して、com.sap.businessobjects.iviews.ear ファイルをデプロイします。

必要な Enterprise Portal の P4 ポートを検索するには、次のアクションの内 1 つを実行します。

- ポータルアプリケーションサーバのポート番号に **4** を追加します。たとえば、ポータルアプリケーションサーバのポート番号が "50200" の場合、"50204" を使用します。
 - `http://<PortalHostName>:<port>/sap/monitoring/SystemInfo` にある [SAP システム情報ページ](#) にアクセスします。
- コマンドラインで、`¥¥<InstallDir>/usr/sap/<SID>/<InstanceNumber>/j2ee/deployment/scripts` ディレクトリに移動します。
 - 次のコマンドを実行します。

```
deploy <user>:<password>@<host>:<P4Port> <ArchivePath> [-no_start]
```

引数	説明
user	コマンドを実行するユーザー。このユーザーには、管理者権限が必要です。
password	コマンドを実行するユーザに関連付けられたパスワード
host	ターゲット AS Java ホスト
P4 ポート	ターゲット P4 ポート番号
archive	アーカイブへのパス
no_start	デプロイ後にモジュールを起動するかどうかを示します。

例

```
deploy J2EE_ADMIN:pass123@myhost:50204 com.sap.businessobjects.iviews.ear
-no_start
```

4.2.3 BI プラットフォームを SAP NetWeaver Enterprise Portal システムランドスケープに追加する

.par ファイルを SAP NetWeaver Enterprise Portal サーバにアップロードしたら、Business Intelligence (BI) プラットフォームを SAP NetWeaver Enterprise Portal システムランドスケープに追加する必要があります。

- ▶ [システム管理](#) ▶ [システムランドスケープ](#) ▶ に移動します。
- [ポータルコンテンツ] ツリー構造を展開します。
- 右クリックして ▶ [新規作成](#) ▶ [フォルダ](#) ▶ を選択します。
- [[フォルダ名](#)]、[[フォルダ ID](#)]、および、および [[フォルダ ID の前置記号](#)] を入力します。
- [完了] をクリックして [[閉じる](#)] をクリックします。
- 作成したフォルダを右クリックし、▶ [新規](#) ▶ [システム](#) ▶ を選択します。

7. [SAP BusinessObjects システムテンプレート] を選択し、[次へ] をクリックします。
8. [システム名] を入力し、[次へ] をクリックします。
9. [エイリアスの定義] ページで、システムのエイリアスを入力します。
10. [追加] および [次へ] をクリックします。
11. [[次へ] をクリックした後に接続テストを実行] のチェックボックスをオフにし、[完了] をクリックします。
12. 作成したシステムを右クリックし、[プロパティ] を選択します。[基本] ではなく [すべて] を有効化します。
13. [プロパティの変更] をクリックし、[プロパティの表示] ドロップダウンでカテゴリを選択して以下のプロパティを設定します。

a. SAP BusinessObjects

1. [Web アプリケーションサーバの URL] を入力します。

例: <http://vanpgvmwin048.product.businessobjects.com:8080/BOE> ➡

① 注記

完全修飾 URL (プロトコルサーバ、ポート、および Web バンドルへのパスを含む) を入力します。

2. [シークレットの埋め込み] を入力します。

① 注記

埋め込みパスワード (Secret1) は、NW と BI 間で共有する必要があります。シークレットの埋め込みは、Tomcat の場合と同じ値に設定する必要があります。Tomcat でシークレットの埋め込みを設定するには、以下の手順に従います。

1. BI サーバ (Tomcat) で、<InstallDir>%tomcat%webapps%BOE%WEB-INF%conf%default に移動し、global.properties ファイルと OpenDocument.properties ファイルをコピーして <InstallDir>%tomcat%webapps%BOE%WEB-INF%conf%custom に貼り付けます。
2. 以下で説明されているように次の値を使用してカスタムフォルダにコピーしたファイルを編集します。
 - <InstallDir>%tomcat%webapps%BOE%WEB-INF%conf%custom にある OpenDocument.properties を開き、logon.allowInsecureEmbedding=true を設定してファイルを保存します。
 - <InstallDir>%tomcat%webapps%BOE%WEB-INF%conf%custom にある global.properties を開き、logon.embed.secret の値を設定してファイルを保存します。
例: logon.embed.secret=Secret1
 - Tomcat キャッシュをクリアして Tomcat を再起動します。

① 注記

iView プロパティと Tomcat の両方で値を空白のままにすると、有効なシークレットが構成されず、エラーが発生します。

3. [保存] および [閉じる] をクリックします。

① 注記

ユーザが SAP NetWeaver Enterprise Portal にログインする際に、ログイン認証情報を再度要求されることなく BI ラウンチパッドにアクセスするには、システムで以下のプロパティを設定する必要があります。

1. コネクタ

- アプリケーションホスト (例: NW73)
 - ゲートウェイホスト (例: product.businessobjects.com)
 - ゲートウェイサービス (オプション) (例: sapgw00)
 - 論理システム名 (例: R37CLNT800)
 - SAP クライアント (例: 800)
 - SAP システム ID (SID) (例: R37)
 - SAP システム番号 (例: 00)
 - システムの種類 (例: SAP_BW)
2. ユーザ管理
- ログオン方法 - SAPLOGINTICKET

5 ポートレットのデプロイ

通常、iView はポートレットと呼ばれるポータルコンポーネントから構築されます。ポートレットは、iView を機能させ、コンテンツの取得と表示を可能にするコードです。

デフォルトでは、ドキュメントビューアとドキュメント一覧という 2 つのタイプのポートレットをポータルサーバにデプロイできます。ただし、ポートレットをデプロイする前に、iView テンプレートを Enterprise Portal にインポートする必要があります。

ドキュメントビューアポートレット

ドキュメントビューアは、作成する最もシンプルなタイプのポートレットです。デプロイメント時に、ポータルページデザイナーまたは管理者が設定した 1 つのデフォルトのレポートを表示します。

iView ポータルページでデフォルトのレポートを表示し、レポート内を問題なく移動することができます。ただし、デフォルトのレポートに他のレポートへのリンクが含まれていない限り、他のレポートには移動できません。

ドキュメント一覧ポートレット

ドキュメント一覧ポートレットの機能は、BI プラットフォームの機能と似ています。割り当てられたアクセス権に基づき、ユーザはレポートの表示と移動、個人用フォルダの表示、カテゴリの参照、レポートの編集、レポート最新表示のスケジュール、レポートのマニュアル最新表示、Business Intelligence (BI) コンテンツの検索、およびユーザ設定を行うことができます。

5.1 ポータルサーバに iView テンプレートをインポートする

1. Enterprise Portal で、**システム管理** > **転送** > **インポート** に移動します。
2. **[パッケージファイルのソース]** リストから **[クライアント]** を選択します。
3. `¥¥<InstallDir>¥SAP BusinessObjects¥SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0¥warfiles¥portlet¥iviews¥com.sap.businessobjects.iviews.templates.epa` ファイルを見つけて選択し、**アップロード** をクリックします。
4. **[インポート]** をクリックします。
インポートには少々時間がかかります。com.sap.businessobjects.iviews.templates.epa ファイルは正常にインポートされたことを示すメッセージが表示されます。

5.2 ドキュメントビューアポートレットをデプロイする

SAP BusinessObjects ドキュメントビューアテンプレートを使用してドキュメントビューアポートレットをデプロイします。

1. Enterprise Portal で ► **コンテンツ管理** ► **ポータルコンテンツ** ► を選択し、iViews を作成する目的のフォルダを選択します。
2. **[新規作成]** を右クリックして、**[iView]** を選択します。
3. **[iView テンプレート]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. **SAP BusinessObjects ドキュメントビューアテンプレート** を選択して、**次へ** をクリックします。
5. **iView 名**、**ID**、および**前置記号**オプションの値を入力します。
6. **次へ** をクリックします。
7. **[システムエイリアス]**、**[OpenDocument パス]** (OpenDocument / opendoc / openDocument / jsp)、および**[ドキュメント ID タイプ]** オプションの値を入力します。
8. **[次へ]** をクリックします。
9. 次の操作のいずれかを実行します。
 - **[ドキュメント ID (CUID)]** を選択した場合は、表示する BI プラットフォームドキュメントを探して選択します。
 - **ドキュメント ID (CUID)** を選択しなかった場合は、表示する SAP Business Warehouse ID (bw_id) を入力します。
10. **[概要]** ページで、**[ウィザード終了時に編集用に開く]** を選択し、**[完了]** をクリックします。
11. **[プレビュー]** をクリックします。
デプロイされると、レポートが別のウィンドウに表示されます。

5.3 ドキュメント一覧ポートレットをデプロイする

SAP BusinessObjects ドキュメント一覧テンプレートを使用してドキュメント一覧ポートレットをデプロイします。

1. Enterprise Portal で、► **コンテンツ管理** ► **ポータルコンテンツ** ► を選択します。► ►
2. **[ポータルコンテンツ]** ツリー構造を展開します。
3. **[新規作成]** を右クリックして、**[iView]** を選択します。
4. **[iView テンプレート]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. **SAP BusinessObjects ドキュメント一覧テンプレート** を選択して、**次へ** をクリックします。
6. **[iView 名]**、**[ID]**、および**[前置記号]** オプションの値を入力します。
7. **[次へ]** をクリックしてから、**[終了]** をクリックします。
8. 編集のためにオブジェクトを開きます。
9. **[変更]** を選択し、**[基本]** ではなく **[すべて]** を選択します。
10. **[プロパティの表示]** ドロップダウンリストで **[SAP BusinessObjects]** カテゴリを選択します。
11. **[システムエイリアス]** の値を入力します。

- 作成した iView をクリックして [\[プレビュー\]](#) を選択します。
デプロイされると、レポートが別のウィンドウに表示されます。

5.4 IE 10 および IE 11 に対して SAP NetWeaver Enterprise Portal Server 7.3 を設定する

デフォルトでは、Internet Explorer 10 および Internet Explorer 11 には、互換モードで Business Intelligence (BI) ラUNCHパッド iView が表示されますが、BI ラUNCHパッドの機能は標準モードでのみ使用できます。

SAP NetWeaver Enterprise Portal Server バージョン 7.3 の場合、BI ラUNCHパッドを正しく表示するには、標準モード用に IE 10 と IE 11 を設定する必要があります。

- 新しいポータルページを作成します。
- SAP NetWeaver Enterprise Portal で、[コンテンツ管理](#) > [ポータルコンテンツ](#) > [SAP によるコンテンツ](#) > [管理インタフェース](#) > [管理 iView テンプレート](#) > [ブラウザドキュメントモード](#) を選択し、Browser Document Mode プロパティをポータルページに追加します。
- Browser Document Mode プロパティを `IE=edge,requiresActiveX=true` に変更します。

Internet Explorer 10 および Internet Explorer 11 で、BI ラUNCHパッド iViews が互換モードではなく標準モードで表示されます。

6 Knowledge Management and Collaboration に関する BI プラットフォームリポジトリの設定

SAP NetWeaver Enterprise Portal では、SAP NetWeaver Enterprise Portal を介して Knowledge Management and Collaboration 機能が提供されます。SAP NetWeaver Enterprise Portal では、BI プラットフォームリポジトリが使用されます。

このセクションでは、SAP NetWeaver Enterprise Portal で BI プラットフォームリポジトリをインストール、設定、および保守する方法について説明します。この情報は、リポジトリマネージャの設定責任者である SAP NetWeaver Enterprise Portal 管理者を対象としています。

6.1 SAP Enterprise Portal に対する BI プラットフォーム設定の概要

SAP NetWeaver Enterprise Portal に対して BI プラットフォームリポジトリを設定する場合、以下の一般的なステップが必要です。

Knowledge Management and Collaboration に対して BI プラットフォームを設定するには、管理者には Enterprise Portal および BI プラットフォームの使用経験が必要です。

1. ポータルランタイムの管理コンソールから `BusinessObjectsKM.par` ファイルを Enterprise Portal にアップロードします。
2. リポジトリマネージャで新しいインスタンスを作成します。
時間を節約するために、インスタンスを複製します。
 - a. **プロパティ検索マネージャ**が選択されていないことを確認します。
これは、一部の Enterprise Portal のデプロイメントに含まれるプロパティ検索マネージャクラスにより `BusinessObjectsKM.par` ファイルの正常な起動が妨げられるおそれがあるためです。
 - b. "レイアウト" サービスを選択します。
 - c. 接続先である BI プラットフォームの Central Management Server (CMS) のホストとポートを入力します。
 - d. OpenDocument URL と Web サービス URL で、`WEB_SERVER_AND_PORT` を Web サーバのホスト名とポート番号に置き換えます。

① 注記

指定した SAP システム ID と Enterprise Portal 証明書が CMS にインポートされたことを確認します。詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドの "ERP 環境の追加設定" を参照してください。

3. **KM Content** ページでリポジトリを右クリックして、**詳細** > **設定** > **プレゼンテーション** を順に選択します。

4. プロファイルの選択をクリックして、レイアウトに *BOBJELayout* を選択し、設定をすべてのサブフォルダに適用するチェックボックスをオンにします。

6.2 BI プラットフォームリポジトリをインストールする

1. Enterprise Portal に管理者権限でログオンします。
2. 管理コンソールで ► システム管理 ► サポート ► ポータルランタイム を選択します。
3. BusinessObjectsKM.par ファイルを見つけて選択し、アップロードをクリックします。

インストールされた businessObjectsKM.par ファイルは、<InstallDir>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%warfiles%KMC% に置かれます。

6.2.1 SAP Enterprise Portal から BI プラットフォームリポジトリをアンデプロイする

管理コンソールで BusinessObjectsKM.par ファイルを選択して、クリーニングをクリックします。

6.3 BI プラットフォームリポジトリの設定

Business Intelligence (BI) プラットフォームリポジトリの設定を行うには、SAP Enterprise Portal、BI プラットフォーム、および SAP Business Warehouse (BW) システムでオプションを設定する必要があります。

たとえば、SAP NetWeaver Enterprise Portal、BI プラットフォーム、および BW 間で次のアクションが発生します。

1. ユーザが SAP NetWeaver Enterprise Portal にログオンすると、そのポータルからログオンチケットが発行されます。
2. このユーザが BI プラットフォームリポジトリを開くと、ログオンチケットおよび設定済みの SAP_System_ID と SAP_Client の値が BI プラットフォームに渡されます。
3. SAP_System_ID によって指定される BW システムに対してログオンチケットの検証が行われます。

6.3.1 BI プラットフォームリポジトリ用に SAP BW を設定する

1. SAP BW システムと Enterprise Portal に同じドメインが設定されていることを確認します。
たとえば、ドメイン名は server1.domain.com と server2.domain.com のようになります。
2. BW システムと Enterprise Portal システムでユーザ名が同じであることを確認します。

① 注記

Enterprise Portal ユーザが BW システムに存在しない場合は、BW でユーザを作成します。

3. Enterprise Portal の証明書が BW システムにインポートされていることを確認します。
 - a. BW で、**システム管理** > **システム設定** > **キーストア管理** を選択します。
 - b. SAPLogonTicketKeypair-cert ファイルを選択し、ローカルマシンに *verify.der* ファイルをダウンロードをクリックして、ローカルマシンで *verify.der.zip* ファイルを解凍します。
 - c. Enterprise Portal ユーザの認証を行う SAP システムで、STRUSTSSO2 トランザクションを開始します。
 - d. システム PSE の **証明書のインポート** を選択します。
 - e. ダウンロードした *verify.der* ファイルを参照し、ファイルのエンコードをバイナリに設定します。
 - f. **[PSE に追加]** および **[ACL に追加]** をクリックします。
表示されるダイアログボックスにおいて、システム ID はポータルシステムの ID (通常、CN と同一) です。
クライアントは 000 です。

Enterprise Portal へのログオンに成功すると、MYSAPSSO2 cookie が表示されます。この cookie は SAP システムによって検証できます。

6.3.2 SAP NetWeaver Enterprise Portal 用に BI プラットフォームを設定する

Enterprise Portal と BI プラットフォーム Web アプリケーションサーバは、同じドメインに配置する必要があります。

1. Enterprise Portal ユーザ用に SAP BW システムとロールがインポートされていることを確認します。
 - a. 許可されるシステムとして BW システムを BI プラットフォームに追加します。
 - b. 対応するロールを BI プラットフォームにインポートします。
 - c. BI プラットフォームリポトリ設定で、BI プラットフォームの Central Management Server (CMS) の名前と BW システム ID を指定します。
2. レポートを表示する際にシングルサインオンを有効にするには、OpenDocument Web アプリケーションの *web.xml* ファイルで *opendoc.sessioncookie.enabled* を *false* に設定します。
3. ユーザが HTTPS を使用して BI プラットフォーム Web アプリケーションにログオンできるようにするには、次の手順を実行します。
 - a. BI プラットフォーム Web サービスの証明書をダウンロードします。
 - b. 次のコマンドを入力して、キーストアに証明書をインポートします。

```
%java_home%\bin\keytool -import -v -trustcacerts -alias tomcat -file  
server.cer -keystore client.keystore -keypass password -storepass password
```

- c. Enterprise Portal サーバにキーストアファイルをコピーします。
- d. リポトリマネージャの BI プラットフォーム設定で、キーストアファイルの場所およびパスワードを指定します。

6.3.3 クライアントマシンを設定する

すべてのクライアントマシンブラウザで、cookie を有効にします。

6.3.4 BI プラットフォームリポジトリ用に SAP NetWeaver を設定する

- BI プラットフォームの Central Management Server (CMS) では、Web サービス URL、OpenDoc URL、および送信 URL を異なるマシンに配置できます。
 - CMS、SAP_System_ID、SAP_Client、およびスタートフォルダ ID 設定に対する変更は、ユーザがログオフし、ログオンし直すと反映されます。
1. **システム管理** > **システム設定** > **ナレッジマネジメント** > **コンテンツ管理** > **リポジトリマネージャ** を選択し、BI プラットフォームリポジトリを選択します。
 2. **CMS** ボックスに、接続する CMS の名前を入力します。
1つの BI プラットフォームリポジトリは、1つの BI プラットフォーム CMS にマップされます。

→ ヒント

複数の CMS のオブジェクトを表示するには、複数の BI プラットフォームリポジトリインスタンスを作成します。たとえば、`<cms_host_name>:<port>` と入力します。

3. **前置記号** ボックスに、1つのインスタンスの前置記号を入力します。この記号は、KM コンテンツ iView に表示されます。
たとえば、`/BOERM` と入力します。
4. **スタートフォルダの SID** ボックスに、KM でスタートフォルダとして使用する BI プラットフォームオブジェクトの SI_ID を入力します。
たとえば、23 と入力します。
5. **インデックス用のユーザ認証タイプ** ボックスに、BusinessObjects リポジトリにアクセスするときに使用する認証のタイプを入力します。
6. **購読用のユーザ認証タイプ** に、BusinessObjects リポジトリにアクセスするときに使用する認証のタイプを入力します。
7. **インデックス化する EP ユーザ** に、BusinessObjects 管理者アカウントの ID を入力します。
8. **購読する EP ユーザ** に、BusinessObjects 管理者アカウントの ID を入力します。
9. **SAP クライアント** ボックスに、シングルサインオン (SSO) に使用する BW システムの 3 桁のクライアント番号を入力します。
10. **SAP システム ID** ボックスに、SSO に使用する BW システムの 3 桁のシステム ID を入力します。
11. **[Web サービス URL]** ボックスに、SAP NetWeaver Enterprise Portal ユーザが BI プラットフォームにログオンするときに使用する Web サービスプロバイダの URL を入力します。
たとえば、「`http://<WebServer>:<port>/dswsbobje/services/`」 と入力します。
12. **インデックス用ユーザパスワード** に、BusinessObjects 管理者アカウントのパスワードを入力します。
13. **購読用ユーザパスワード** に、BusinessObjects 管理者アカウントのパスワードを入力します。
14. **OpenDoc URL** ボックスに、オブジェクトまたはオブジェクトの最新インスタンスの BI プラットフォーム URL を入力します。

Java の場合の入力例:

```
http://host/OpenDocument/opendoc/openDocument.jsp
```

.NET の場合の入力例:

```
http://host/OpenDocument/opendoc/openDocument.aspx
```

15. **プロパティ検索マネージャ**ボックスに、プロパティ検索マネージャのクラス名を入力します。
このオプションは、**設定しない**に設定できません。
16. **リポジトリサービス**で、必要なサービスを有効にします。
 - BI プラットフォーム固有のコマンドを有効にするには、**レイアウト**を選択します。
 - BI プラットフォームリポジトリの検索を有効にするには、**プロパティ**を選択します。
 - BI プラットフォームリポジトリのオブジェクトのコラボレーションを有効にするには、**コラボレーションオプション**を選択します。
たとえば、**コメント**、**ディスカッション**、および**レーティング**を選択します。
 - BI プラットフォームインスタンスの購読を有効にするには、**購読**を選択します。
17. **キーストアファイル**ボックスに、HTTPS Web サービスを使用する CMS 接続用のキーストアファイルの場所を入力します。
18. **キーストアパスワード**ボックスに、キーストアのパスワードを入力します。
19. BI プラットフォームへのログオンで HTTPS を使用するには、次のアクションを実行します。
 - a. BI プラットフォーム Web サービスの証明書をダウンロードします。
 - b. 次のコマンドを使用して、キーストアに証明書をインポートします。


```
%java_home%\bin\keytool -import -v -trustcacerts -alias tomcat
-fileserver.cer -keystore client.keystore
-keypass password -storepass password
```
 - c. SAP NetWeaver Enterprise Portal サーバにキーストアファイルをコピーします。
 - d. BI プラットフォームリポジトリ設定で、キーストアの場所およびパスワードを入力します。

6.3.5 BI プラットフォームレイアウトを設定する

BI プラットフォームのプロパティおよびコマンドが適切に表示されるようにするには、設定済みの BI プラットフォームリポジトリのレイアウト設定を BI プラットフォームレイアウトに変更する必要があります。

1. **コンテンツ管理 > KM コンテンツ** を選択し、BI プラットフォームリポジトリを右クリックして、**詳細**を選択します。
2. **設定 > プレゼンテーション** を選択し、**プロファイルの選択**をクリックして、**BOBJELayout**を選択します。
3. BI プラットフォームリポジトリ内のすべてのフォルダにレイアウトを適用するには、**すべてのサブフォルダに設定を適用する**チェックボックスを選択します。
4. **保存**をクリックします。

6.3.6 コラボレーションの設定

コラボレーションを有効にすると、ユーザは BI プラットフォームリポジトリに保存されているオブジェクトについてディスカッションできます。コラボレーション機能には、コメント、フィードバック、個人用ノート、レーティングがあります。

ユーザのコラボレーションを有効にするには、BI プラットフォームリポジトリのオプションを設定します (**コンテンツ管理 > リポジトリマネージャ**)。

6.3.7 購読の設定

フォルダまたはドキュメントの購読により、フォルダまたはドキュメントの変更が電子メールまたは SMS でユーザに通知されます。購読は、通知を定期的またはイベントによってトリガされたときに送信するように設定できます。

購読の要件は次のとおりです。

- BI プラットフォームリポジトリの購読サービスを有効にする必要があります ([BI コンテンツ管理](#) > [リポジトリマネージャ](#))。
- ユーザが BI プラットフォームリポジトリの購読を選択する必要があります。
- メールサーバまたは SMS サーバが購読を許可するように設定する必要があります。

6.4 BI プラットフォームリポジトリインスタンスを更新する

1. [BI システム管理](#) > [システム設定](#) > [ナレッジマネジメント](#) > [コンテンツ管理](#) > [リポジトリマネージャ](#) を選択し、BI プラットフォームリポジトリを選択します。

事前に定義されている BI プラットフォームリポジトリのインスタンスが表示されます。事前に定義されているインスタンスを変更することも、新しいインスタンスを作成することもできます。

2. 新しいインスタンスを作成するには、次の手順に従います。
 - a. [\[新規作成\]](#) をクリックします。
 - b. 必要に応じてオプションを設定し、[OK](#) をクリックします。

① 注記

リポジトリサービスオプション以外のすべての変更が、ただちに反映されます。リポジトリサービスオプションの変更を反映させるには、J2EE サーバを再起動する必要があります。

3. 既存のインスタンスを変更するには、次の手順を実行します。
 - a. インスタンスを選択して、[編集](#) をクリックします。
 - b. 必要に応じてオプションを変更し、[OK](#) をクリックします。

7 SAP NetWeaver Enterprise Portal の Knowledge Management and Collaboration

SAP NetWeaver Enterprise Portal では、以前は "SAP NetWeaver Enterprise Portal (EP)" という名前だった SAP NetWeaver Enterprise Portal を通じて Knowledge Management and Collaboration 機能を提供します。

SAP NetWeaver Enterprise Portal の開発は停止されました (新機能やアップグレードの予定はありません)。現在の Enterprise Portal ユーザは、代わりに Business Intelligence (BI) プラットフォームの iView ドキュメント一覧ポर्टレットの使用を検討する必要があります。このポर्टレットにより、ポータルインタフェースを介して Enterprise Portal と同様のデータアクセスが提供され、柔軟性が向上し、より多くの機能を利用できるようになります。

7.1 SAP Enterprise Portal の BI プラットフォームリポジトリにログオンまたはログオフする

Business Intelligence (BI) プラットフォームリポジトリセッションからログアウトしないと、セッションは、タイムアウト設定に基づいて自動的に終了します。

Enterprise Portal 管理者が BI プラットフォームリポジトリを設定すると、Enterprise Portal ユーザはシングルサインオン (SSO) を使用し、ナレッジマネジメントコンテンツやナレッジマネジメント iView ポータルを介してリポジトリにアクセスできるようになります。

次の操作のいずれかを実行します。

- ログオンするには、[表示] メニューまたは [BusinessObjects] メニューの [ログオン] をクリックします。
- ログオフするには、[表示] メニューまたは [BusinessObjects] メニューの [ログオフ] をクリックします。

7.2 SAP NetWeaver Enterprise Portal での BI プラットフォームのナビゲート

画面上部に表示されるブレッドキラム、またはツリーリストを使用して、Business Intelligence (BI) プラットフォームリポジトリにあるセントラル管理システム (CMS) フォルダを参照できます。

BI プラットフォームにログオンすると、次のデフォルトフォルダが表示されます。

- 受信ボックス: ユーザの受信ボックス
- お気に入り: ユーザのお気に入りフォルダ
- <RootFolder>: ナレッジマネジメントコンテンツが含まれているルートフォルダ

① 注記

iView ポータルで、任意のサブフォルダをルートフォルダ (例: パブリックフォルダ) として定義できます。

ナビゲーションビューが ([フォルダで並べ替える] ではなく) [カテゴリ名で並べ替える] に設定されている場合、次のデフォルトカテゴリが表示されます。

- 個人用
- 会社用

7.2.1 フォルダビューとカテゴリビューの間でナビゲーションを切り替える

デフォルトでは、ナビゲーションは [フォルダで並べ替える] に設定されています。ナビゲーションの種類を変更すると、リポジトリからログオフして、再度ログオンするまで、新しい設定は反映されません。

ナビゲーション方法を変更する前に、Business Intelligence (BI) プラットフォームリポジトリにログオンする必要があります。

1. リポジトリで、[表示] を選択し、[フォルダで並べ替える] または [カテゴリ名で並べ替える] を選択します。
ナレッジマネジメントコンテンツホームページが表示され、選択したビューにコンテンツが表示されます。
2. BI プラットフォームからログオフし、再びログオンします。

7.3 BI プラットフォームタスクの概要

この表は、Business Intelligence (BI) プラットフォームにおける一般的なタスクの簡潔な概要を示したものです。

タスク	説明
最新表示	▶ フォルダ ▶ 最新表示 ▶ を選択して、BI プラットフォームで情報の最新ビューを表示します。参照しているフォルダが変更された場合、変更は最新表示をクリックした後に表示されます。
表示	ドキュメントを右クリックし、表示を選択して、ドキュメントをオンデマンドで新しいウィンドウに表示します。
最新のインスタンスを表示	ドキュメントがスケジュールされており、成功インスタンスが少なくとも1つある場合、最新のインスタンスを表示を選択して、最新の成功インスタンスを新しいウィンドウで表示します。

	<p>④ 注記</p> <p>最新のインスタンスを表示は、フォルダではなくドキュメントのみにに対して選択できます。</p>
スケジュール	<p>ドキュメントを右クリックしてスケジュールを選択し、オブジェクトの新しいインスタンスをスケジュールします。</p> <p>ドキュメントをスケジュールするには、適切なアクセス権限が必要です。</p>
履歴	<p>ドキュメントを右クリックして履歴を選択し、ドキュメントのスケジュール済みインスタンスの履歴を表示します。</p> <p>コンテキストメニューで履歴を利用できない場合、ドキュメントにインスタンスがありません。</p>
作成	<p>新しいドキュメントを作成します。</p>
[コピー] または、[移動]	<p>BI プラットフォームリポジトリから別のリポジトリにドキュメントまたはフォルダをコピーまたは移動します。</p>
削除	<p>BI プラットフォームリポジトリでドキュメントまたはフォルダを削除します。</p>
詳細	<p>オブジェクトを右クリックして詳細を選択し、名前、説明、最終実行日、サイズを含むオブジェクトの詳細情報を表示します。</p> <p>詳細パネルには、BI プラットフォームに対してコラボレーションサービスが有効になっている場合、オブジェクトのコラボレーション情報も表示されます。</p>
ダウンロード	<p>ローカルマシンにドキュメントのコピーをダウンロードするには、ドキュメントを右クリックしてダウンロードを選択します。</p>

7.3.1 ドキュメントを BI プラットフォームにアップロードする

Voyager、Interactive Analysis、Crystal レポート、テキストファイル、Microsoft ドキュメントなどのドキュメントを、Business Intelligence (BI) プラットフォームにアップロードできます。

- ドキュメントをアップロードするには、**フォルダ > ローカルドキュメントのアップロード**を選択します。
- アップロードするドキュメントを検索して、**アップロード**をクリックします。

7.3.2 BI プラットフォームにオブジェクトをコピーまたは移動する

Business Intelligence (BI) プラットフォームリポジトリから別のリポジトリに、ドキュメントやフォルダをコピーおよび移動できます。

オブジェクトをコピーまたは移動する前に、適切なアクセス権を持っている必要があります。

フォルダをコピーまたは移動した場合、フォルダ内のオブジェクトも BI プラットフォームリポジトリにコピーまたは移動されます。

① 注記

一部の Enterprise Portal リポジトリでは、ソースオブジェクトの名前を渡せないことがあります。この場合、BI プラットフォーム内の新オブジェクトの CUID が名前として使用されます。

1. コピーまたは移動する各ドキュメントまたはフォルダの横にあるチェックボックスを選択します。
複数のチェックボックスを選択して、複数のドキュメントやフォルダを同時にコピーまたは移動できます。
2. **選択 > コピー** または **選択 > 移動** を選択します。

7.3.3 BI プラットフォームからオブジェクトを削除する

Business Intelligence (BI) プラットフォームから、ドキュメントおよびフォルダを削除できます。フォルダを削除すると、その中身も削除されます。

オブジェクトを削除する前に、適切なアクセス権を持っている必要があります。

① 注記

単一のオブジェクトをすぐに削除するには、オブジェクトを右クリックし、**削除**を選択します。

1. 削除する各ドキュメントの隣に表示されるチェックボックスを選択します。

① 注記

複数のドキュメントを同時に削除するには、複数のチェックボックスを選択します。

2. **選択 > 削除** を選択します。

7.3.4 BI プラットフォームでドキュメントを検索する

ドキュメントのプロパティに基づき、Business Intelligence (BI) プラットフォームのコンテンツに対する "あいまい" 検索を実行できます。

BI プラットフォームで検索サービスを有効にする必要があります。

① 注記

このタスクには、管理用の設定が別途必要になる場合があります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

1. フォルダを右クリックし、[検索](#)を選択します。
2. 表示されるウィンドウに、検索キーワードを入力します。

7.3.5 BI プラットフォームでドキュメントを購読する

ドキュメントの作成、編集、削除などの変更が行われた場合に通知されるよう、Business Intelligence (BI) プラットフォームでドキュメントを購読します。

BI プラットフォームで購読サービスを有効にする必要があります。

① 注記



このタスクには、管理用の設定が別途必要になる場合があります。詳細については、管理者にお問い合わせください。

1. BI プラットフォームでドキュメントを右クリックし、[購読](#)を選択します。
2. 表示されるウィンドウで、購読オプションを設定します。

重要免責事項および法的情報

ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
 - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
 - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できると保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。